

# 感染症情報

## 咽頭結膜熱が流行しています！

### どんな病気？

咽頭結膜熱はアデノウイルスによる感染症です。主に夏に小児を中心に流行する感染症です。プールでの感染があることから「プール熱」とも呼ばれます。最近の傾向として、冬季にも小流行がみられることがあります。主な症状は、39℃前後の発熱、咽頭炎（のどの痛み・発赤など）、結膜炎（目の充血、めやになど）を3主症状とし、その他リンパ節の腫れ、腹痛、下痢などが生じることがあります。症状は1～2週間でおさまります。頻度は高くありませんが、重症化した場合は肺炎などを合併することがあります。

治療はそれぞれの症状に対する対処療法が中心になります。結膜炎が強い場合は眼科での治療が必要になります。

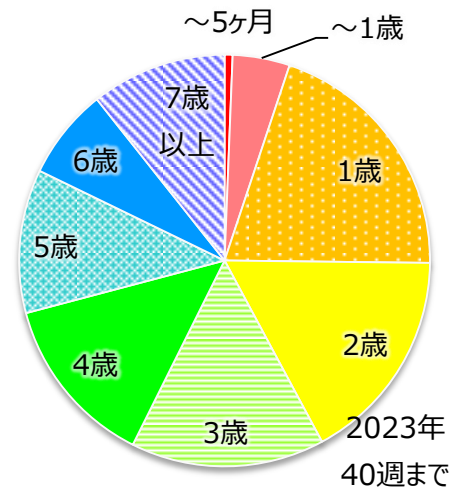
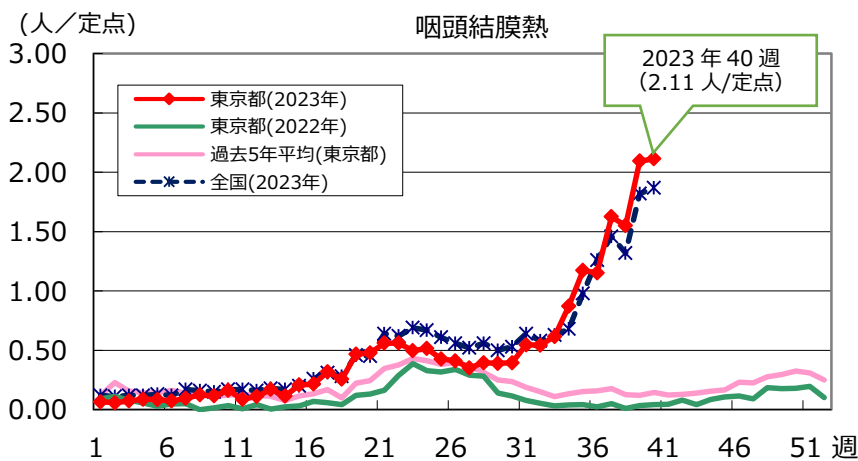
### 現在の流行状況

都内の小児科定点医療機関<sup>※1</sup>からの第40週（10月2日から10月8日まで）における患者報告数は、定点当たり2.11となっております。患者報告数が31保健所中9保健所で警報レベルを超え、保健所管内人口の合計は、東京都全体の33.2%となり警報基準<sup>※2</sup>に達しています。

また、患者の約80%は5歳までの小児となっており、注意が必要です。

※1 定点医療機関：流行疾患の受診患者数を定期的に報告するよう都が指定した医療機関

※2 咽頭結膜熱の警報基準：定点あたり患者数が3.0を超えた保健所の管内人口が、東京全体の人口の30%を超えた場合



### どうやってうつるの？

感染力は非常に強く、患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスによって感染（飛まつ感染）、あるいは、ウイルスが付着した手やタオルなどの患者が触れたものを介して感染します（接触感染）。

### どうやって防ぐの？

アデノウイルスにはアルコールは効きにくいので、石けんと流水でのこまめな手洗いをしましょう。

また、プールや温泉施設を利用する際は、前後にシャワーを必ず浴び、タオルの共有は避けましょう。